

サッカー環境の整備・振興に関する要望書

苫小牧地区サッカー協会

令和 5 年 9 月 26 日

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

苫小牧地区サッカー協会
会 長 戸 村 真 規

サッカー環境の整備・振興に関する要望書

平素より苫小牧地区サッカー協会の活動に対しまして、ご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

平成31年度には苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場が人工芝化されたことにより、日々の練習や各種大会など利用者は大幅に増加しました。さらに、令和2年度には苫小牧中央インターチェンジが供用開始されたことに伴い、交通アクセスの改善をはじめ地理的優位性により緑ヶ丘運動公園を取り巻く環境は大きな変革の時期を迎えております。

つきましては、来年度、苫小牧市緑ヶ丘公園陸上競技場において改修工事が行われる予定であることから、是非とも当該競技場フィールド内の天然芝でサッカーができる環境を整備していただきますよう要望いたします。

あわせて、令和6年度予算の編成に当たっては、下記のとおり、緑ヶ丘公園サッカー場や周辺環境の整備についても重ねて要望いたします。

記

- 1 苫小牧市緑ヶ丘公園陸上競技場（ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場）フィールド内の天然芝でサッカーができる環境を整備していただくよう要望いたします。

（メリット）

緑ヶ丘運動公園内に4面ピッチを確保できることから、より積極的な全国・全道大会や合宿等の誘致につなげることができます。また将来的には観客席の整備によりJリーグの試合が可能となり、市民が素晴らしい試合を観戦することができます。

- 2 駐車場の拡大や既存施設の周辺環境を整備いただくよう要望いたします。

（メリット）

テニスや野球などの大会と重なっても駐車違反することなく、安心して駐車することが可能となります。

また、管理棟内に多様性に配慮された更衣室やユニバーサルトイレの設置及び備品の充実等により安心して利用できる環境を提供することができます。